慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	ON時間OFF時間
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	2015
Jtitle	新版 窮理図解 No.20 (2015. 10) ,p.6- 6
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000020-0006

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

湯川 正裕の ON と OFF

数理科学と工学の境界線で仕事をする
湯川の ON と OFF を少しだけ紹介します。

海外留学

留学中はカフェにたびたび足を運んで研究のアイデアを育てていました。そしてミュンヘンと言えばオクトーバーフェスト!! マスビール（1リットルジョッキ）が次々と消費されていく姿は圧巻でした。ホスト研究室の行きつけは老舗のアウグスティナー。お酒に弱い筆者もおいしく飲み干しました。

Dance

学生時代は競技ダンスに熱中。学業よりダンスの練習に打ち込むラテン人でした（いちばん右が筆者）。10 年間続けたお陰で体内の隠れた筋肉に出合うことができました。

国際会議

国際会議は最新の研究成果を発表する重要な機会です。サントリーニ島（ギリシャ）の会議では、洞窟みたいな会場で発表。バンケットはリラックスしながら情報交換や新しいネットワーク作りをします。この写真は屋外のため、空腹なネコ達がテーブル下で待機。

研究室

慶應大学への赴任時には、新潟大学から一緒に移ってきた学生達とホームパーティー。現在は慶應の学生 8 名と一緒に過ごしています。時々、東工大の山田研究室（筆者の出身研究室）のセミナーに研究室メンバーと参加したり、合同でハイキングや鍋パーティー（芋煮会）などをして交流を深めています。

共同研究

ドイツの Fraunhofer Heinrich Hertz 研究所、ミュンヘン工科大学、韓国の KAIST、理化学研究所、東工大、新潟大などと共同研究をしてきました。2014 年の夏、機械学習分野を牽引する K.R. ミュラー教授（ベルリン工科大）を訪問して共同研究の打ち合わせを行いました。

欧州での集中講義

ドイツのミュンヘン工科大学（2010 年秋）とフィンランドのタンペレ工科大学（2012 年夏）で大学院生を対象とした集中講義をしました。フィンランドは信号処理がとても盛んで，タンペレ工科大学には信号処理学科があります。講義中に突っ込んだ質問もあって、とても刺激的でした。講義が終わると、聴講者一同から似顔絵つきの Thank you paper のサプライズが（涙）。